

# 米国におけるハリケーン報道記事のテキスト分析 New York Times を中心に

村 上 直 久\*

Text analysis of hurricane news articles which appeared in the *New York Times*

Naohisa MURAKAMI\*

Key words : critical discourse analysis, text analysis, rhetoric strategy

## 1. はじめに

2004年は世界中で大規模災害が頻発した一年だった。年末のスマトラ島沖大地震とインド洋大津波、11月の新潟県中越地震などの印象が強く残っているが、米国に目を転じると、大型ハリケーンがフロリダ州を中心に夏から秋にかけて4つも米本土に上陸し、猛威をふるったことも記憶に新しい。

ハリケーン報道は、米国のジャーナリズムではもちろん主として社会ダネに分類される。日本における台風襲来へのニュース記事がそうであるように大まかに言って発生、襲来、被害状況の3つが主な柱となる。そして大規模なハリケーンが上陸し、甚大な被害をもたらすと、それは被害地域の住民の生活を脅かすとともに、生活を一変させることが多い。言い換えれば、被災地域住民の様々な人生模様、人生の断面が浮き彫りにされる。このため、執筆する記者は「ルーティーン記事」としてではなく、human interest 的な要素をふんだんに盛り込み、読者の興味を引こうとする。自然災害は“筋書きのない悲劇”と呼ばれるかもしれない。

本稿は批判的ディスコース分析 (critical discourse analysis)<sup>1)</sup> やテキスト分析 (text analysis)<sup>2)</sup> の手法を用いながら、2004年8月初めから同年10月初めまでにフロリダ州を中心に米国本土に上陸した4つの大型ハリケーンについての報道を分析する。分析対象は *The New York Times* (NYT) に掲載された記事に絞った。

---

原稿受付：平成17年5月16日

\*長岡技術科学大学語学センター

それでも数十本に上った。

まず、テキストに内在する支配的価値観を抽出することを目指し、批判的ディスコース分析を用いて、レトリック戦略が記事の中でどのように使われているかみていく。そして、ディスコースの form（形式）として、positive/negative（肯定/否定）、passive/active（受動態/能動態）がどのように使い分けられているかという文法的側面に注目する。

テキスト分析の具体的な手法としては、Wodak（2001）のテキスト分析をめぐる階層理論を使う。まず、「言語の次元」として、客観的および中立的な記述と感情の起伏を表す記述の使い分け、「出来事としてのストーリー性」に着目する。Boorstine（1992）はマスメディアによるニュース報道は、出来事についてのストーリーを作り上げている擬似現象だと指摘している。

次に「マテリアルな次元」として、社会的コンテキスト、政治的コンテキスト、経済的コンテキスト、歴史的コンテキスト、宗教的コンテキストに注目する。

そして最後に NYT 記事の特徴、スタイルをつかんだうえで、災害報道としてのハリケーン報道の到達点などをみて結論とする。

## 2. ディスコース分析

ディスコース（discourse）は言語学者の間では「談話」、文学者の間では「言説」と通常、訳されているが、「あるディスコースが作り出されるのはどのような社会的文脈によるものなのか」（桜井、2003）という問題意識を持ってこの論考を進める。

ハリケーン報道記事に特徴的にみられるディスコースはあるのだろうか。本稿で取り上げる記事は NYT の様々な記者が書いたものであり、“個人プレー”の色彩が濃い。それでも全体を通してみると、いくつかの特徴が浮かび上がってくる。レトリック戦略と形式の側面から分析を試みる。日本ではレトリックは美辞麗句と一般に考えられているようだが、古典的なレトリックの定義はアリストテレスが言った「説得の手段」である。さらに、米国の政治コミュニケーションの分野ではレトリックとは人々の協調行動を促すための言語行為が持つ象徴的機能とされている。本稿ではそうした機能を最大限化するための戦略をレトリック戦略と位置付けている。

## 2.1 レトリック戦略

日本の新聞での台風襲来記事でもみられるが、NYT のハリケーン報道記事には襲来地域の住民がみせる感情の起伏で一定のパターンがある。すなわち、警戒 いらい立ち あきらめ 深い疲労感 なぐさめという順だ。その間に、皮肉やジョーク、超現実感などが交じる。記者は、住民のそうした感情の変遷を取り上げることにより、ハリケーン記事のレトリック戦略を無意識的に打ち出していると言えるかもしれない。いくつか例文を抽出してみた。

### 2.1.1 警戒感

ハリケーンの連続襲来に脅えながらも、緊急用備品の買い出しなどで備えるフロリダ州住民の様子が描写されている。

A shaken Florida began bracing Wednesday for the possibility of its second major hurricane in less than a month, with people up and down the state's eastern coast lunging for emergency supplies even as it remained impossible to predict where the storm would strike.

( Hurricane battered Florida brace for another big one, Sept. 2, 2004 )

ハリケーンを警戒する住民の緊張した様子がよく表れている。A shaken Florida とフロリダ州を擬人化した表現など心にくいばかりだ。

### 2.1.2 苛立ち

ハリケーン Charley で被災したフロリダ州 Windmill Village の Michael Jennings さんは

The stress and tension is mounting as the day pass

( Fear of looting is on rise, if not the reality of it. Aug. 21, 2004 )

と苛立ちを隠さない。

ハリケーン Charley が襲来して一カ月も経たないうちに次のハリケーン Frances に見舞われたフロリダ州 Orlando の住民 Rahaat Sharma さんが嘆く。

We've already had our share of misery. We don't deserve another storm. Why can't

it go somewhere else?.

( Hurricane-battered Floridians brace for another big one, NYT Sept. 2, 2004 )

### 2 .2 .3 あきらめ

苛立ちの後にはあきらめがやってくる。

これはバハマ諸島での話だが、ハリケーン Frances が近付いている状況の描写で、地の文で

With nowhere to run, islanders prepare, then wait their fate.

( As storm nears Bahamas, residents hunker down, Sept. 3, 2004 )

と運を天に任せる様子が示されている。

メキシコ湾岸地域からフロリダ州にかけて猛威を振った三番目の大型ハリケーン Ivan によるフロリダ州 Cantonment における被災状況を Andrew C. Revkin 記者は

Ho-hum hurricanes

( Inlands, too, are the sights and scences of a disaster, Sept. 18, 2004, A8 )

と形容している。

### 2 .3 .4 深い疲労感

ハリケーン Jeanne の襲来で、

You get mentally tired and emotionally and physically just tired.

( Another hurricane roars across mid-Florida, Sept. 27, 2004 )

と無力感が漂っている。

### 2 .3 .5 なぐさめ

そして諦念にも似た慰めがある。Ivan の襲来の後、フロリダ州 Pensacola に住む、Christ Episcopal Church の Rev. Russel Levenson さんは、

Maybe you lost the trees, but not the house; Maybe you lost the house, but not the stuff in it. Maybe you lost everything, but you're still here.

( Hurricane-hit areas begin long road back to normal, Sept. 20, 2004 )

と述べ、信者たちは「教会の鐘が屋根を突き抜けて落ちてきたため、集会室で礼拝していたという。モノはなくても命さえあればよしとしなければと牧師さんは信者たちをなぐさめている。この部分には parallelism and rhetorical questions という同じ構造の文章を何回も繰り返す手法が使われている。

## 2 .3 .6 皮肉やジョーク

そして厳しい状況の中でも皮肉やジョークが出てくる。皮肉やジョークの使用で観点を微妙にずらすことが可能となり、それにより状況を理解してもらうための説得力が増している。

フロリダ州 St. Lucie County の柑橘類栽培地帯では、グレープフルーツ栽培農家の Niles Cooney さんは、ハリケーン Frances で木から振り落とされたグレープフルーツが大量に自宅近くの水溜りに浮かんでいるのを見て

Early harvest.

( Floridians wrestle with extension cords and gas cans as hurricane passes, Sept. 6 )

と「空威張り」のジョークを飛ばした。

ハリケーン Ivan の襲来の後、アラバマ州 Souvenir City の駐車場では、白波が立っていた。そして同市の住民、Steve Horvat 氏は、「今では海辺の地所を持つようになった」との冗談を飛ばした後、

The problem is some people say it looks like a houseboat.

と付け加えた。

## 2 .2 形式の側面

Van Dijk ( 2001 ) によると、ディスコース分析において、意味の形成、より厳密に言えば、mental models の形成において受動態/能動態、肯定/否定の選択、擬人化が重要な役割を果たすとしている。特に、受動態/能動態については、受動

態の多用は動作主体の欠落を示すことになるとしている。ただ、ハリケーン関連記事では、動作主体は猛威を振るう自然の力であり、それに対して人々は受身にならざるを得ないという事情がある。

### 2 .3 .1 受動態/能動態

ハリケーン Frances のフロリダ襲来の記事のリードは次のようになっている

Hurricane Frances engulfed the Bahamas on Friday, leaving at least one person dead before moving, ever more slowly toward an anxious Florida, where 2.5 million people-nearly 15 percent of the state's population have been urged to evacuate their home.

( Floridians flee as giant storm slowly heads in, Sept. 4, 2004 )

ここではハリケーンの襲来が能動態で、住民が避難勧告されたことが受動態で表されている。すなわち、状況を左右しているのは住民ではなく、ハリケーンだということであり、住民はハリケーン襲来という事態に翻弄されていることを示している。この場合形式が内容に対応しているといえよう。

同様の書き方は枚挙にいとまがない。そのうちの一つを挙げると、その翌日のハリケーン Frances をめぐる状況で、

Hurricane Frances relentlessly enveloped most of Florida on Sunday in severe squalls, lashing rain and scattershot destruction. In its wide wake, millions of residents were left without power and hundreds of thousands without ready access to gasoline, groceries or other daily staples.

( 2<sup>nd</sup> hurricane deepens wounds in stricken Florida, total in losses could reach \$40 billion, Sept. 5, 2004 )

ハリケーン Frances の動きが能動態で表され、住民の状況は受動態だ。

### 2 .3 .2 肯定/否定

ハリケーン関連の記事では否定形を使った表現が圧倒的に多い。否定形が使われるのは特に条件法の場合が多い：

ハリケーン Frances の襲来に関連して、フロリダ州知事 Jeb Bush 氏は、

If you're not on the coast or in a flood zone or in a mobile home, you may be safest by staying where you are and making sure that you're protected.

( hurricane-battered Floridians brace for another big one, Sept. 2, 2004 )

と勧告している。

ハリケーンの襲来は至る所で不都合を起こすので、人々は嫌でもそれに慣れなければならない。

“ I can tell you that in Polk County we've learned about some things we never imagined before, ” Mike Herr, the county manager, said on Monday. “ They don't like it, but you would be amazed at how the people of the county have adapted to a new way of life. ”

( After 3 hurricanes, weather takes on new meaning for one county, Sept. 28 )

## 2 .3 .3 擬人化

ハリケーンには人の名前がついている。Charley, Frances, Ivan, Jeanne と2004年にフロリダ州に上陸した四つのハリケーンもそうだ。日本を襲来する台風については、米軍は名前に通常は女性名をつけている。これは抽象的な数字よりもその威力が実感できるからだと推察される。

## 3 . テキスト分析 ( 言語の次元 )

言語の次元におけるテキスト分析で最も重要なのはテキスト間 ( ディスコース間 ) の分析である。Wodak ( 2001 ) だけでなく、フランスの哲学者・精神分析学者 Kristeva<sup>3)</sup> も既に1970年代に「 inter-textuality ( 間テキスト性 ) 」として、独立したあるテキストの分析だけでなく、異なるテキスト間の関係、相互作用、相互浸透に目を向ける必要性を主張している。Kristeva の場合はもちろん文学テキストなのだが、Wodak が対象としているのはニュース記事のテキストである。

桜井 ( 2003 ) は、作品のテキストは、様々な人々との関係のなかで解釈され、読まれ、その意味が生み出されるとしているが、作品をニュース記事と読み替えることも可能だろう。

間テキスト性は、de Beaugrande ( 1999、2002 ) によれば、「結束性 ( cohesion )」「一貫性 ( coherence )」「意図性 ( intentionality )」「受容性 ( acceptability )」「情報性 ( informativity )」「状況性 ( situationality )」と並んで、テキスト性 ( textuality、

texture) の基準を構成するものだ。

そしてこれに関連して、「出来事としてのストーリー性」に着目する。現実の動きを言葉で抽出してテキストにするという作業は、個々のディスコースだけでなく、全体の流れも一度、頭の中で「ストーリー化」する作業を伴うと言う視点に立っている。言い換えれば、現実を「分節化」し「切り取る」と言う作業を行わなければ、現実を「了解」できないということだ。これは、風景や会議の様、会話をエンドレスのビデオテープでとって、「何のことやら分からない」という設定を想像すればいいだろう。

### 3.1 間テキスト性

ここでは2004年にフロリダ州を襲った4大ハリケーンのうち最初のハリケーンである Charley をめぐって、NYT に掲載された8月13日から同月19日の合計16本の記事を対象にする。

16本を ハリケーンの接近（警戒）、ハリケーンの上陸（災害の発生）、ハリケーンが去った後の状況（後遺症）の三グループに分けた。

は1本、 は3本、 は12本と次第に増えてくる。そしてこれらはもちろんハリケーン Charley という縦糸で強く結ばれたテキスト群であることは言うまでもなく、相互に密接に関連している。この16本は三部のノンフィクション小説を構成すると見なすことも可能だ。ただ、第三部は異様に長い。

#### 3.1.1 ハリケーンの接近（警戒）

自然災害は前述したように「筋書きのない悲劇」の側面もっており、先行きは読めないことが多い。まず、大規模災害が起きる可能性が生じると嚴重な警戒が呼びかけられる。

ハリケーン接近（警戒）の記事は、

Florida takes one storm's punch, braces for another's (Aug. 13, 2004)

しかない。

2004年8月12日時点の話だ。熱帯性低気圧（tropical storm）の Bonnie がフロリダ半島に大雨をもたらした後だけに、これより強力とされる Hurricane Charley の接近は警戒心を呼び起こした。ハリケーンの襲来が予想されたフロリダ半島西岸に住む190万人の住民に対して避難勧告が出された。これはフロリダ半島西



岸の Tampa Bay 地方では過去最大規模の避難勧告だった。

この段階で州当局者にとっての最大の懸念は、大あらしに慣れていない住民にハリケーンの脅威を正確に伝えられるかどうかという点だった。Tampa の通りは苛立ったドライバーの運転する車で混雑し、店はハリケーンに備えて食料品や備品などを買おうとする住民であふれていた。

8月11日には熱帯性低気圧 Bonnie とハリケーン Charley のダブルパンチを恐れて早々と非情事態宣言を出し、12日には500人の州兵に召集をかけた。

米国赤十字は8月12日までに11カ所に避難所を設置、避難所の数はこれより増えるのは確実だとみられた。

ハリケーン Charley の風速は時速105マイルでこれはハリケーンの強さを表す Saffir-Simpson scale の強度5段階のうち下から2番目のカテゴリー2の強さであり、上陸する (make landfalls) 事態となればカテゴリー3 (時速111マイル以上) に発達するとみられていた。

### 3.2.2 ハリケーンの上陸 (災害の発生)

ハリケーン Charley は風力が時速145マイルまで発達し、フロリダ半島の西岸に上陸した。8月14日付の NYT に、Florida suffers serious damage from hurricane という題のいわゆる「本記」が掲載され、その中で50万人が電力を奪われ、多くの家の屋根が飛んでなくなり、病院の窓が風で吹き飛ばされ、レンガの壁が剥げ落ち、ハリケーン上陸の後に15フィートの高波が押し寄せてきたと状況が説明された。この記事によると、ハリケーン Charley は1992年に南フロリダを壊滅的狀況に陥し入れたハリケーン Andrew 以来、最も強力なハリケーンで、フロリダ州西海岸を襲ったハリケーンとしては過去1世紀で最悪だったという。避難命令は結局、200万人近くの住民に対して出された。しかし、ハリケーン Charley は高層ビルが立ち並ぶ人口密集地帯である Tampa Bay からは離れた。8月13日の夕方までに、フロリダ州当局者は財産への被害は145億ドルに上り、ビジネス中断のコストは23億ドルに上ったと推定した。フロリダ州のジェブ・ブッシュ知事の要請で、ブッシュ大統領は同州を連邦被災地域に指定した。

学校や大学は休講となり、空港は閉鎖され、シーワールドとディスニーワールドは休園となり、ケネディ・スペース・センターは従業員を早めに帰宅させた。

ハリケーン Charley の威力は、Saffir-Simpson scale でカテゴリー4と格付けられた。すなわち風の強さが時速131~155マイルだ。

最初の四パラグラフの原文は次の通り。

Tampa, Fla. Aug. 13 - A ferocious hurricane packing winds of 145 miles an hour ripped into Florida's west coast Friday, leaving a half million people without power, flipping roofs off houses, blowing out hospital windows and peeling apart brick walls. A 15-foot storm surge followed in its wake.

Hurricane Charley, the strongest storm to hit Florida since Hurricane Andrew devastated South Florida in 1992 and the worst on the west coast of Florida in at least a century, prompted state and local officials to order the evacuation of nearly two million people all along the heavily populated coastal communities.

The storm raged through Charlotte Harbor, about 90 miles south of Tampa, and headed straight for Orlando, with meteorologists saying it would remain at hurricane strength all the way across the state before barreling into the Atlantic. But it spared the densely populated Tampa Bay area, full of modern high-rises and waterfront condos, which had expected to be hardest hit.

By early evening, Florida officials estimated the property damage to be \$14.5 billion and attributed another \$2.3 billion in losses to business interruptions. The officials estimated that 377,000 buildings were damaged.

この本記には、サイド記事として、予測が外れ、ハリケーンの強さが急激に変化したことを説明した、

Forecasting, Hurricane intensified unexpectedly near Florida

と言う記事と避難所の様子などを個人の話を多く引用し、「ストーリー性の高い」

With danger at the door, a diverse Florida bonds-American melting pot finds shelter in a Fort Meyers Gym

と言う記事が付随している。後者については3.3で説明する。

### 3 .2 .3 ハリケーンが去った後の状況（後遺症）

本数的には12本と一番多く、8月16日から8月19日にかけて掲載された。この12本はもちろん相互に関連しており、また、上陸の記事のフォローアップと位置付けられよう。

12本の記事のうち中心記事は、8月16日付の、

Florida assesses damage in wake of deadly storm-thousands are homeless, President views damage and says federal aid is arriving in state

との見出しがついた記事だ。この中では、ハリケーン Charley が去った2日後のフロリダ州では、被害状況が明らかになるにつれて死者の数が増えているが、そのペースは当局者が恐れていたほどではなく、また、数万人が家を失い、100万人近くが停電に見舞われていたとしている。ブッシュ大統領は8月15日に短時間、フロリダ州をヘリコプターで視察し、記者団の質問に答えて連邦政府の援助はスムーズに行われていると語った。食糧や氷水、その他の必需品が州外から何台ものトラックで運び込まれた。死者・行方不明者の捜索を進める当局者が恐れていたのは清掃中の屋根からの落下やチェーンソーの操作などに伴う二次災害だと指摘した。最初の三パラグラフを紹介する。

Haines City, Fla. Aug. 15 - Two days after Hurricane Charley tore across the state, the death toll was inching up, but far slower than officials had feared and tens of thousands of people who were left homeless by one of the worst storms ever to hit Florida were pondering their next step.

Close to a million people were still without power, many were without water, too, and utility officials said it could be up to three weeks before service to some could be restored. Around the state, people emerged from their battered homes in search of the basics: gasoline, automated teller machines, cigarettes.

In Haines City, a Howard Johnson Hotel that had been crammed with people fleeing the hurricane was nearly empty and without power, and the few remaining guests used water from the debris-filled swimming pool to flush their toilets.

この記事に付随して8月16日には、高齢者の悲惨な状況を扱った

For Florida's suddenly displaced elderly, the unwelcome prospect of starting over

と、大木が屋根の上に倒れ、後片付けの苦労を語る

Trees, part of city's beauty, help storm thrash Orlando

の2本が、8月17日には、被害状況「本記」のアップデートとも言うべき、

Nerves fray in Florida as hurricane's grim and grimy reality sinks in

が掲載され、これに付随してハリケーンがフロリダ州の農作物に与えた被害状況についての、

agriculture: Hurricane badly hurt Florida crop

とフロリダ州の沖合いの島がハリケーンに削られたため同島の住民が直面している困難についての

Island residents are forced to wait to see storm's result

が、そして救援活動に携わる人々の苦労を描いた、

Federal response: With laptops and flashlights, relief agency sets up shop

およびハリケーン後の便乗値上げについての

With storm gone, Floridians are hit with price gouging

が掲載された。

8月18日付では、後遺症についての本記の第三弾とも呼べる、衛生状態への懸念が指摘されている、

The overview: Health threats become major concern in hurricane's aftermath

とそれに付随して、便乗値上げについてのアップデート、

The economics: Outlasting the storm, Floridians are hit with a stream of price

gouging

が掲載された。8月19日になっても、後遺症についての本記第四弾とも言える、避難住民のフロリダ州沖の島への帰還を主に扱った、

The overview: Floridians returning to islands

との見出しをつけた記事とそれに付随する、イラクにおける任務とフロリダ州での救援活動を比較した、

a soldier's story: Post-hurricane duty? It could be worse, a veteran of Iraq says

や、倒壊した電柱の話、

Electricity: Topped power lines everywhere are posing a Herculean task to get the lights back on

が掲載された。これらはすべてジャーナリズムでいう「続報」である。

### 3.3 「出来事としてのストーリー性」

With danger at the door, a diverse Florida bonds: American melting pot finds shelter in a Fort Myers Gym

この記事は前述したが、フロリダ州 Fort Myers のジム（体育館）に避難した人々の状況に焦点を合わせて一つの「ノンフィクション・ストーリー」に仕立て上げ、ハリケーン Charley がもたらした被害状況を浮かび上がらせようとした。その中の主な要素は：

Martin さんの家の裏にある水路のワニ

避難民の構成-米国社会のるつぼ（移民労働者、ホームレス、裕福な自宅所有者、学校の教師、退職者、妊婦、泣き叫ぶ赤ん坊、あらゆる年齢の子供たち）

避難民の持ち物（毛布、枕、寝袋、マットレス、折りたたみ式の椅子、

瓶詰めの水、ポップコーンやキャンディーなどのスナック)  
本を持ち込んだ住民がいたが、灯が消えたので読めなかった  
多様な人種(ハイチ人、黒人、白人、ヒスパニック)  
子供たちは避難所での経験を「冒険」と受け止めて楽しんでいるように  
みえた  
フロリダ州に住むのはもういやだという Shorkey さん一家  
ブッシュ知事の発言：「(フロリダ州という)楽園に住むことに伴う欠点  
は、神様が時々、ハリケーンを与えてくださることだ。しかし、それで  
も楽園には変わらない」  
～ の原文を引用してみよう

Dorothy L. Martin has lived here for 28 of her 51 years, but never felt compelled to leave her home until Friday, when she took shelter in a high school gymnasium with more than 800 other people fleeing Hurricane Charley.

Ms. Martin, who has a canal in the backyard of her first-floor apartment, was not just fleeing the storm. Alligators sent her panicking. “The water will be at the door,” she said. “I would not want to be sucked up and spinning around with big gators.”

The temporary residents were a melting pot of American life: migrant workers, homeless people, affluent homeowners, school teachers, retirees, pregnant women, crying babies and children of all ages, all crammed in with barely enough room to stretch their legs.

They had trekked into the shelter with blankets, pillows, sleeping bags. Mattresses, folding chairs, bottled water, popcorn, candy and other snacks.

Some families brought books but found themselves unable to read when the lights went out in the windowless gym because of a local power failure at 3:30 p.m.

ノンフィクション・ストーリー仕立てにすることで、イメージが湧いてくる。こうしたストーリーは Boorstine が指摘するように pseudo events に近い側面もあるかもしれないが、一概に否定すべきものでもないだろう。Boorstine はマスメディアによるニュース報道は、出来事についてのストーリーを作り上げている

pseudo events であるとしている。

#### 4．テキスト分析（マテリアルな次元）

Wodak（2001）はテキスト分析のマテリアルな次元として、言語外の状況コンテキストを見極める必要性を強調している。すなわち、社会的、政治的、歴史的コンテキストなどだ。テキストはそれ自体で完結するものではなく、様々な文脈（コンテキスト）の中で語られている。ハリケーンの上陸（襲来）はそれ自体でも大きな出来事だが、様々な文脈の中でとらえられてはじめてハリケーンが引き起こした「ドラマ」の全体像が把握できるのではない。

マテリアルな次元における視座は経験に準拠しており、「構造主義的観点」に対立するものとしての「文化主義的観点」に基づいているとも言えよう。

ここでは、社会的コンテキスト、政治的コンテキスト、経済的コンテキスト、歴史的コンテキスト、宗教的コンテキストに関わる部分を異なる記事から抽出する試みを行う。

Fairclough（1997）は、テキストは discourse practice に包含され、それはさらに sociocultural practice に包含されるという入れ子構造の観点を提示している。入れ子構造により、テキストと直接関連する社会状況、テキストに影響を及ぼす社会制度、テキストを規定する社会全体の常識やイデオロギーの3レベルの社会文化状況の影響を考慮した sociocultural practice としてのテキスト分析の観点が存在することになる。

##### 4.1 社会的コンテキスト

社会的コンテキストに関連して、ハリケーンがもたらした心理的緊張による個人への負担、高齢者への打撃、移民の直面する問題、の三点にそれぞれ関連した記事を取り上げてみる。

##### 4.1.1 心理的緊張

ハリケーン Charley が社会にもたらした心理的緊張は無視できないものだった。2004年の新潟県中越地震の際にも報道されたが、避難所や親戚宅、友人宅での生活は自宅と違って、往々にして狭い所での不自由なものとなりがちで、心理面で様々な悪影響が現れてくる。2004年8月18日付に掲載された

The overview: Health threats become major concern in hurricane's aftermath

と言う記事では、心理的緊張の結果、鬱積した感情のはけ口としての家庭内暴力や麻薬の乱用が引き起こされ、そして最悪の場合は自殺さえ懸念されるとしている。該当部分を引用してみる。

Government and private relief officials said they were concerned about the psychological strain on thousands of people who had fled storm-damaged homes to stay with friends and relatives in crowded shelters or crammed motel rooms. Though many of them are getting along fine now, many are likely to find those living conditions unbearable within days, officials said.

Experts said domestic violence, substance abuse and even suicide could result from the stress of being displaced. For that reason, the Red Cross has mobilized hundreds of mental health experts to begin door-to-door visits with displaced people, and the Federal Emergency Management Agency is preparing to locate long-term temporary housing for storm victims.

ここで注目すべきは、災害がもたらした心理的緊張とそのはけ口についての説明が、政府や民間の救援団体の当局者や専門家によってなされている点である。災害記事における一次情報を得るための当局者への依存が大きくならざるを得ないことを浮き彫りにしている。

#### 4 .1 .2 高齢者への打撃

新潟県中越地震でも最大の災害弱者グループは高齢者だった。フロリダ州を襲ったハリケーンも例外ではなかった。ハリケーン Frances が9月上旬にフロリダを襲った後、多くの高齢者が苦難に直面した。貧しく、健康問題を抱える老人たちがエアコンのない部屋に放置されたと説明している。フロリダ州では1,740万人の人口のうち、22.5%が60歳以上だ。北部の州での職業生活を終えた後、引退して暖かいフロリダ州に住んでいる人は多い。9月8日付の

The storm has passed, but Florida's ordeal continues との見出しの記事では、

Old people withering alone in the summer heat without air-conditioning, poor people forgotten and without access to help...



とのくだけがある。

#### 4 .1 .3 移民の苦境

フロリダ州ではオレンジやグレープフルーツなど柑橘類の収穫作業に多くの移民が従事しており、そのうちの多くは不法移民だ。ハリケーン Frances と Ivan が収穫前の柑橘類を木から吹き落としてしまったので突然仕事がなくなるという状況に直面した。2004年9月10日付の記事「More fruit in Central Florida is on ground than on trees」の中で次のような部分がある：

“ What are we going to pick now? ” asked Hugo Gonzalez in Spanish, as the 22-year-old agricultural migrant worker sat at the door of his trailer two nights after Hurricane Frances rattled his home. “ You can't see oranges on the tree any more. ”

---

“ It is not worth staying here, because you don't make enough to pay expenses, ” said Mr. Gonzalez, who has worked for the last two years as one of Florida's estimated 25,000 citrus pickers. About 70 percent of them are illegal immigrants, according to the Migrant Farmworker Justice Project of Florida Legal Service.

---

The talk in other migrant agricultural communities is much the same. Where to go? What type of work to do?

Some migrants have begun to leave Central Florida for Mexico, others in search of work elsewhere in the United States-Michigan for blueberries, Georgia for watermelons, Kentucky for tobacco.

移民の不安定な生活が、ハリケーン災害を契機にして浮かび上がっている。災害の影響をもちに被るのは社会の底辺であえいでいる人たちであるという状況は世界中どこでも似ていると思われる。

#### 4 .2 政治的コンテクスト

ハリケーンのプロリダ上陸に関連して、大統領選のプロリダ州予備選挙への影響、イラクの惨状との比較、大統領選候補者の被災地訪問、選挙戦の中断など政治的コンテクストから見た記事が数本あった。

#### 4 .2 .1 大統領選のフロリダ州予備選挙

フロリダ州のブッシュ知事は、ハリケーン Charley が猛威を振るったことで8月31日に予定されていた、大統領選挙のフロリダ州予備選に影響が出ないか心配していた。同知事は共和党から再選を目指していたブッシュ大統領の実弟だ。2004年8月17日の

The overview: Nerves fray in Florida as hurricane's grim and grimy reality sinks in  
の記事中、

Gov. Jeb Bush, the president's brother, said he hoped the hurricane would not hinder the Florida primary election, scheduled for Aug. 31, the last test of the state's new voting machinery before the presidential election.

フロリダ州では2000年の大統領選挙で投票システムの不備で開票が大混乱に陥り、それを受けて新しい投票機械が導入された。

#### 4 .2 .2 イラクの惨状との比較

イラク戦争後にイラクで軍務についた後、フロリダ州の民兵組織の一員としてハリケーン襲来後の復旧作業に従事した Sgt. Darren Cockerham さんがイラクとフロリダの状況を比較する記事もあった。2004年8月19日の記事、

A soldier's story: Post-hurricane duty? It could be worse, a veteran of Iraq says

だ。イラクとフロリダの違いは、フロリダでの難儀は一時的なもので、一方、イラクでは「幸福な結末はない」とあきらめている人が多いという点を指摘した。

Sgt. Darren Cockerham, the son of a geologist, can pinpoint one tiny difference between Florida and Iraq. On Florida's beaches, the grains of sand are square. In the sun baked Iraq desert, they are round.

Beyond that, the contrasts are almost too vast to articulate. But after seven months in Iraq escorting Iraqi exiles returning to help the war effort, and six days at home helping in the recovery from Hurricane Charley, Sergeant Cockerham, a full-time recruiter for the National Guard, offers a distinct perspective. The suffering in Florida now may be intense, he says, but it is temporary. In Iraq, where fundamental conflicts

are thousands years old, many of the people Sergeant Cockerham encountered may never see a happy ending.

---

In Iraq, there was never a moment's ease as Sergeant Cockerham, 26, traveled a route in Baghdad known as Sniper's Alley, or stepped away from his Humvee moments before it burst into flames from a grenade attack, or bedded down in the open desert with his boots on.

In his days of duty since Hurricane Charley, he has slept in an air-conditioned arena and stood on this evacuated resort island, watching newly hatched sea turtles stumble toward a starlit ocean.

この記事で目を引くのは、イラクとフロリダの違いを砂の形状の違いで表すことから始めている点だ。そしてそれ以外はコントラストは明確に表現するにはあまりにも大きいとしている。それでもイラクでの緊迫した勤務と、海亀の孵化を眺める余裕があるフロリダでの災害救助活動を対比させている。

#### 4 .2 .3 大統領候補者の被災地訪問

民主党のケリー大統領候補（上院議員）は選挙キャンペーン目的でのフロリダ州 Orlando 訪問をハリケーン Charley 襲来のためにキャンセルした数日後、同州の被災地を訪れたが、被災民や援助活動家の激励が主目的だった。フロリダ州は2004年8月中旬の時点で、激戦地とみられていた。2004年8月21日付の

The victims: Kerry visits Gulf Coast area devastated by hurricane

の記事を部分的に引用すると、

Days after canceling a campaign swing to Orlando to avoid disrupting relief efforts, Senate John Kerry traveled to the battered southwest coast of Florida on Friday and toured some of the worst damage from Hurricane Charley, walking among the shards of obliterated trailers and consoling homeowners.

After a short briefing by emergency officials in hard-hit Punta Gorda, Mr. Kerry mingled with relief workers, congratulating them and calling their efforts inspirational.

---

Some of the hardest-hit counties, Charlotte, DeSoto and Lee, supported Mr. Bush by wide margins in his tight race against Vice President Al Gore in 2000. Summer polls suggest that Florida remains almost evenly divided in the current presidential race, and Mr. Bush and Mr. Kerry have campaigned in the state frequently.

政治家の主張やイデオロギーについての言及がなく、政治家の被災地訪問に関する淡々とした記述が目立つ。

#### 4 .2 .4 選挙戦の中断

2004年9月下旬の時点で、度重なるハリケーンの襲来でフロリダ州における大統領選挙戦はほぼ6週間中断していた。資金集めは自粛され、応援のボランティアは救援活動を手伝うと言う状況だった。2004年9月25日付の For Florida, the campaigning just has to wait では、次のようなくだりがあった。

Pollsters in this crucial swing state were forced to twiddle their thumbs for six weeks. Fund-raisers did not dare seek donations and campaign volunteers found themselves clearing debris from neighborhoods they had hoped to canvass on behalf of Senate John Kerry or President Bush.

Three back-to-back hurricanes have crippled the campaign season in Florida, and political candidates are only now starting to make up for precious lost time in a state whose residents may be too storm-fatigued to notice. With a fourth hurricane looming just offshore, lawmakers and political operatives are gasping at the irony that Florida, which scrupulously prepared for November to make up for its gaffes in 2000, is mired in chaos nonetheless.

---

A CNN/USA Today/Gallup poll released Thursday gave Mr. Bush a two-point lead over Mr. Kerry among likely voters in Florida.

There is also the question of whether Florida's frazzled voters will meet the registration deadline of Oct. 4, and whether their polling stations are still standing.

ブッシュ大統領とケリー上院議員の支持率の差への言及はあるものの、全体としてハリケーンの襲来で「政治休戦」に入ったことを示している。

### 4.3 経済的コンテキスト

ハリケーン襲来後の便乗値上げや被害額などについての記事が経済的コンテキストからの記事のグループに入る。

#### 4.3.1 便乗値上げ

フロリダ州ではいくつかの悪質な便乗値上げがみられた。2004年8月18日付の With storm gone, Floridians are hit with price gouging の中にはいくつかの事例が紹介されている。

Greg Lawrence talks about the \$10 bag of ice. Kenneth Kleppach says he was clipped for nearly three times the advertised price for a hotel room. And a man with a chain saw told Jerry Olmstead that he could clear the oak tree off his roof, but it would cost \$10,500.

---

In one of the boldest cases, some contractors from Jacksonville offered to clear two trees off the roof of an Orlando woman for \$23,000, Mr. McMahon said. The woman declined the offer.

--

The first wave of opportunistic pricing came from motels and hotels as the hurricane was approaching, Mr. Crist said.

災害の後には便乗値上げがつきものだが、記事は列挙することによって、言外に批判の意味を込めているようだ。

#### 4.3.2 被害額

最初の二つのハリケーン、Charley と Frances だけでフロリダ州に400億ドルの被害を与えたと推定されている。史上最大の規模だ。しかし、大統領選挙の年ということもあり、再選を狙うブッシュ大統領の実弟が知事を務める同州には手厚い経済援助が供与される見込みだ。2004年9月6日の記事、The damage: Back-to-back punch of two hurricanes is expected to exact a 40-billion-dollar toll を部分的に引用しよう。

As Hurricane Frances lumbered across Florida on Sunday, economic analysts

estimated the costs of the damage inflicted by the sprawling storm and Hurricane Charley three weeks ago could run to \$40 billion.

That would be a greater economic blow to Florida than any hurricane disaster the state has previously has encountered.

“It's a one-two punch,” said J. Antonio Villamil, the chairman of Gov. Jeb Bush's economic council. “There is no question, this will have a significant impact on the state.”

---

Mr. Villami said the growth of Florida's \$500 billion economy would probably slow to about 4 percent on an annualized basis for the three months ending in September, down from 4.8 percent in the previous three months.

He said unemployment because of the two hurricanes would probably rise to 4.8 percent or 5 percent from 4.4 percent in July.

経済的コストが具体的な数字を伴って言及されることから、ハリケーン災害のおおよその重要度が浮かび上がる。

## 4 .4 歴史的コンテキスト

フロリダ州の発展の様子や同州を襲った過去のハリケーンに触れた記事は、歴史的コンテキストを意識したテキストだと言えよう。

### 4 .4 .1 フロリダ州の発展

ハリケーン Charley は、1992年のハリケーン Andrew 以来、フロリダ州を襲った最大のハリケーンだった。ハリケーン Andrew は270億ドルの損害をもたらしたが、それでもフロリダ州での建設ブームに冷や水をかけることはなく、州経済は発展し、人口も急増した。2004年9月4日付の Even in Stormy weather, Florida's appeal endures の記事は次のように述べている。

From 1990 to 2000, much of which the state spent recovering from Hurricane Andrew, Florida's population soared by 24 percent to 16 million. Now it is 17 million.

The state is under constant construction, with huge housing tracts and high rises pushing north on the east coast past Miami-Dade, Broward and Palm Beach counties through Martin and St. Luce-places that a decade ago were filled with farmland rather than young families and old folks.

Damage costs from Hurricane Andrew in 1992 were estimated at \$27 billion, those from Hurricane Charley last month at least \$7 billion. But few people with real influence seem interested in stopping the boom that, aside from increasing traffic congestion, threatening the fragile environment and stressing the fresh water supply, will only increase the costs of rebuilding.

ハリケーンの度重なる襲来にもかかわらずフロリダ州の魅力は褪せないという事実が強調されている。

#### 4 .4 .2 過去のハリケーン

ハリケーン Charley、ハリケーン Frances に続いて、ハリケーン Ivan がフロリダ州に上陸すれば、40年ぶりに同州が1ハリケーン・シーズンで3つのハリケーンに襲われることになると指摘した記事があった。2004年9月11日付の Floridians are left weary by threat of another hurricane だ。その中で、

If Hurricane Ivan turns toward Florida in the next few days after deadly head-on blows to Grenada and Jamaica. It will be the first time in 40 years that three hurricanes have made landfall here in a single season, according to statistics provided by the National Hurricane Center in Miami.

#### 4 .5 宗教的コンテキスト

ハリケーン災害は宗教的コンテキストではどういう風にとらえられたのだろうか。ハリケーンによる激甚被害にもかかわらず、神への信仰は揺るがなかったという住民、宗教関係者の話がいくつも紹介された記事があった。2004年8月23日付の After the storm comes tests of faith の中では、神 - 善/ハリケーン - 悪との図式もみられる。

Liz McCollough, a secretary at Lake Wales High School, explained why she came to the Sunday service. "It helps recharge the batteries," Ms. McCollough said. "God is somebody we can rely on, no matter what goes on."

Mr. (Rev. Dennis E.) Poster (of the Abundant Life Assembly of God Church in Punta Gorda, Florida) told his sweaty congregation not to despair, though even he broke down once after reading from Psalms 91- "Ye shall not be afraid of the terror

by night ” -and wondered about all the work to be done and the shattered lives to be mended.

“ What the Devil means for bad, the Lord means for good, ” he said. “ And I've got a message for the Devil this morning: We're going to come back, and when we come back, we'll be twice as strong. ”

イデオロギー的側面から災害の猛威を悪魔ととらえている点が注目されるが、執筆した記者はこうした見方に距離を置いているようにみえる。

#### 4 .6 科学的コンテクスト

大型ハリケーンの度重なる襲来などの厳しい気候変化は地球温暖化に関係があるのではないかと指摘したり、ハリケーンの進路を予知する困難に触れたりした、科学的コンテクストからの記事もあった。2004年9月14日付の Science Times: But where is it going?

A great deal has been learned from remote sensing and eye-diving aircraft and computers running trillions of calculations a second. Predictions are improving. But in the midst of such progress, the forces that elude the path and growth of individual hurricanes remain cloaked in mysteries, like the hidden eye in the swirling, miles-high bans of cloud and rain.

Never has the need for improved forecasts been greater. Not only are more people in harm's way, on coasts from Asia to Florida, but most experts now agree that after two decades of relative quiescence the Atlantic will have increased hurricane activity for up to several decades.

The reason is that the Atlantic Ocean shifted, as of 1995, to a pattern of water temperatures and air circulation that energizes storms. Experts also foresee a slow rise in hurricane intensity and rainfall from global warming.

ハリケーンの進路予想の精度を向上させるためにさまざまな努力が払われていることが分かる。また、地球温暖化による大西洋の海面の温度上昇で今後、数十年間にわたってハリケーンの活動が活発になるとの予想が指摘されている。



## 5. 結論

米国においてハリケーン報道は災害報道の一分野だが、以上みてきたように、NYT は様々な角度から多岐にわたるハリケーン襲来関連の記事を流した。質量ともに「全体像」に肉薄しようとする意気込みが感じられた。ハリケーン襲来時、そしてハリケーンが去った後の、フロリダ州におけるいくつかの特定地域における「社会の全体像」が浮かび上がり、普通の人々がハリケーンに翻弄される様子がありありと描かれている。

本論文ではテキスト分析の手法を使った。それもコミュニケーションの行為 (communication act) としてとらえる機能的アプローチ (functional approach) をとった。同アプローチの下では、テキストは広い範囲の基準によって規定され、社会的相互行為としてとらえられている。この基準の中で最も注目されているのが間テキスト性だ。ジャーナリズムの常套的な手法も念頭に入れながらハリケーン記事を分析したが、舞楽の「序破急」にも似た3段階に見事に展開されていることが改めて明らかになった。

この機能的アプローチに加えて Wodak のテキスト分析階層理論に従い、メディアのテクスチュアルな構造としての「言語の次元」に加えて、「マテリアルな次元」としての言語外の状況コンテキスト、すなわち社会的、政治的、経済的、歴史的、宗教的、科学的状況を扱った部分をハリケーン関連記事から丹念に拾い出した。これにより、ハリケーンが連続して襲ったフロリダ州の社会の現実を全体的にとらえる手がかりが少しでも得られたのではないかと考える。そしてこうしたマテリアルな次元の複眼的アプローチとテキスト分析の観点を重ね合わせて見た場合、一連の NYT のハリケーン報道記事が到達した地点がおぼろげながらもその姿を垣間見せたと言えるのではないかと。

### テキスト分析階層理論

#### < 言語の次元 >

##### テキスト

##### テキスト間の関係

#### < マテリアルな次元 >

##### 言語外の状況コンテキスト

##### 社会政治的、歴史的コンテキスト

ジャーナリズムの観点から見ても、これらの記事は可能な限り客観的かつ中立的で、人間味があり、具体的であり、称賛に値すると言うべきだろう。もちろん、NYT の読者はニューヨーク市及びその周辺が主体であり、日本における災

害発生時の主要紙地方版、地方紙にみられるような、救援センターの連絡先とか被災者の氏名のリストとかは NYT の記事には掲載されていない。

本論文では十分取り上げなかったが、意味・形式としてのディスコースと実際の社会状況、そして両者を接続する Cognition ( 認識 ) としての Mental models ( 心的なモデル ) の三角形理論 ( van Dijk, 2001 ) からの接近も可能だったと思う。今後の課題だ<sup>4)</sup>。

## 註

- 1 ) 批判的ディスコース分析の研究成果は、その大半がメディア・ディスコースに集中している。
- 2 ) マテリアルな次元も射程に入れた“動態的テキスト分析”を目指した
- 3 ) Kristeva の間テキスト性に関する研究の成果は1980年代、日本の国文学研究、特に『源氏物語』などの物語研究に盛んに応用された。
- 4 ) 厳密な意味での先行研究とは言えないかもしれないが、本稿を書くにあたって、日本時事英語学会第46回年次大会 ( 2004年10月3日、成蹊大学 ) での五島幸一 ( 愛知淑徳大学 ) による発表 ( 「アメリカにおける災害報道のレトリック分析」 ) を参考にさせていただいた。

## 参考文献

- The New York Times*, Aug. 16-19, 21, 24, Sept. 1-2, 6-10. 13-18. 20. 25-26. 28-29. 2004
- De Beaugrande, Robert, *Discourse Studies and the Ideology of Liberalism*, 1999, *Critical Discourse Analysis: Critical Concepts in Linguistics*, Ed. Michael Toolan, Vol.4, London, Routledge, 2002
- Boorstine, Daniel, *The Image: A Guide to Pseudo-Events in America*, Vintage, New York, 1992
- van, Dijk, Teun A. ' Multidisciplinary CDA: a plea for diversity ' in Ruth Wodak and Michael Meyers ( eds ) *Methods of critical discourse analysis*, pp 95-120, London, Sage, 2001
- Fairclough, Norman and Wodak, Ruth, Critical Discourse Analysis, in Teun van Dijk ( ed. ) *Discourse as Social Interaction*, pp 258-281, London, Sage, 1997
- Wodak, Ruth, The discourse-historical approach in Ruth Wodak and Michael Meyer ( eds. ) *Methods of critical discourse analysis*, pp 63-94, London, Sage, 2001
- 桜井哲夫『フーコー知と権力』東京・講談社、2003